

事後評価調書

I 事業概要									
事業名	治山事業（治山施設機能強化事業）								
地区名	新城市作手大和田字上徳衛 しんしろしつくでおおわだあざかみとうえ								
事業箇所	新城市作手大和田字上徳衛 地内								
事業のあらまし	治山施設を整備することにより、荒廃渓流を保全し、山地災害を防止する。								
事業目標	<p>【達成（主要）目標】 谷止工(嵩上げ) 2個、谷止工 1個を設置し、荒廃渓流の保全を図る。</p>								
事業費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業費</th><th colspan="3">内訳</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>54百万円</td><td>■工事費</td><td>54百万円</td><td>□用補費 百万円、□その他 百万円</td></tr> </tbody> </table>	事業費	内訳			54百万円	■工事費	54百万円	□用補費 百万円、□その他 百万円
事業費	内訳								
54百万円	■工事費	54百万円	□用補費 百万円、□その他 百万円						
事業期間	採択年度 平成24年度 着工年度 平成25年度 完成年度 平成25年度								
事業内容	谷止工(嵩上げ) 2個、谷止工 1個								
II 評価									
①事業目標の達成状況	<p>1) 主要目標の達成状況 【達成状況】 治山施設が整備されたことにより、荒廃渓流が適切に保全され、山地災害の未然防止が図られている。 【達成状況に対する評価】 事業目標を達成しており適切である。</p>								
	<p>2) 副次目標の達成状況 【達成状況】 【達成状況に対する評価】</p>								
III 対応方針									
今後の事後評価の必要性	事業目標は達成されており、今後の事後評価の必要性は無い。								
改善措置の必要性	事業目標は達成されており、今後の改善措置の必要性は無い。								
同種事業に反映すべき事項	本事業は国及び県で定めた従来の設計・積算基準により実施されているため、同種事業に反映すべき事項は特に無い。								